

第 64 回ドイツ語学文学振興会賞選考結果

第 64 回ドイツ語学文学振興会賞の選考結果をお知らせいたします。

振興会賞

益 敏郎

Zur kritischen und poetischen Kraft der Deutung. Die Auseinandersetzung mit der Geschichte bei Hölderlin und Nietzsche

(日本独文学会『ドイツ文学』165号)

振興会奨励賞

中村 徳仁

Das Unbehagen im Naturrecht : Was bedeutet die *Neue Deduction des Naturrechts* hinsichtlich der Entwicklung von Schellings politischer Philosophie?

(Schelling-Studien 10)

選考にあたっては次の方々に審査をお願いしました。

審査者会議議長：光野正幸

審査者：大田浩司，大塚直，北島玲子，熊谷哲哉，境一三，渋谷哲也，関口裕昭，
武田利勝，田邊玲子，田村和彦，山本まり子，山本佳樹，横山淳子

授賞式は、2024年6月8日（土）、12時15分から日本独文学会春季研究発表会（慶應義塾大学日吉キャンパス）において行われます。多くの方々に御出席賜り、新進研究者の受賞を祝していただければと存じます。

なお、本賞の趣旨は日本国内における若手のドイツ語学文学研究者による優れた業績の発掘にあります。論文応募については自薦・他薦は問うておりませんので、広くみなさまからの御応募をお待ちしております。また、授賞にふさわしい研究が埋もれてしまわぬよう、諸先生方からの積極的な御推挙もお願い申し上げます。第65回の応募締切日は2025年1月20日です。応募は随時受け付けておりますので、奮って御応募・御推薦ください。